

# 平成27年度 決算の概要

# ま ち の

# 家 計 簿



■問合せ  
税務財政課財政グループ  
☎74-3003

## 一般会計

歳入決算額  
76億7422万円  
(対前年度3・2%増)  
歳出決算額  
74億3876万円  
(対前年度2・0%増)  
翌年度へ繰越す事業の財源  
448万円  
実質収支  
2億3098万円

源となつていますが、各費目を算定する際の単位費用の減などにより、前年度比で2・2%の減となりました。

町税をはじめ町が独自に確保できる町の自主財源は、町全体の収入の23・8%であり、残りの財源を国や道からの支出金などが占め、依存財源の割合が76・2%と高くなつて

町債(町の借金)残高は、92億4690万円で2億7311万円の減  
(前年度比2・9%の減)

平成27年度の一般会計では、防災行政無線デジタル化整備、洞爺消防支署庁舎建設、虻田中学校校舎棟耐震化などに要する費用をまかなうために8億3291万3千円の町債の借入れを行いました。

一方、町債の償還額(利子を含む)は、12億2998万円、町債残高は、平成26年度末の95億2001万円から2億7311万円減少し、平成27年度末で92億4690万円となりました。

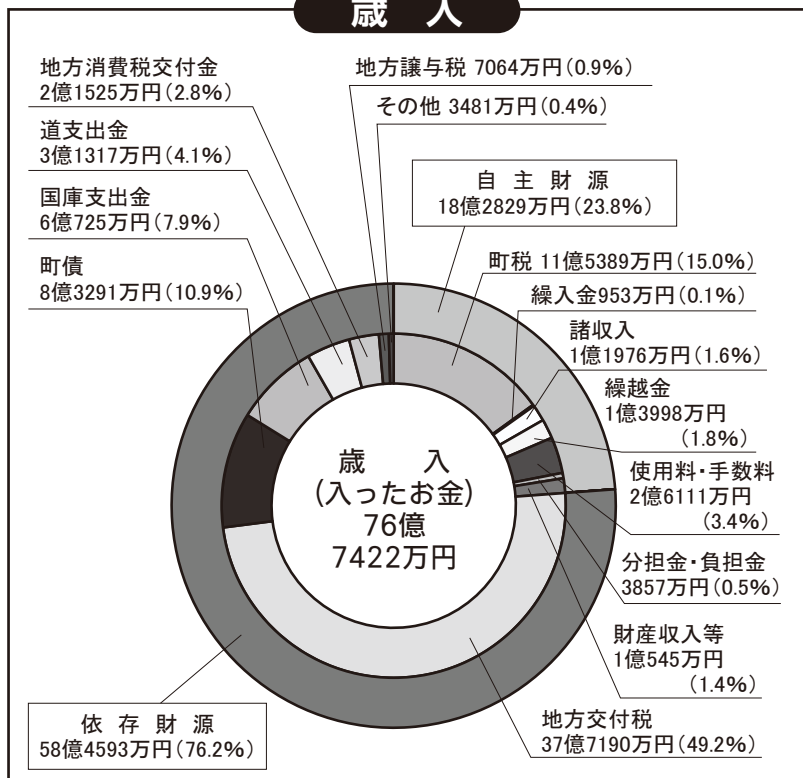
町債の償還額は、平成21年

まちの財政状況は依然として厳しい中、限られた財源を有効に活用しながら、防災行政無線デジタル化整備など住民生活の安全・安心につながる各種の事業を行いました。また、健全化判断比率の財政指標である実質公債費比率、将来負担比率が、いずれも前年度より改善し、財政状況は徐々にではありますが、良好な状態に向かっています。しかし、公債費(借金)が、年々減少しているものの依然として多額で推移しており、町の財政を圧迫している状況にあります。

## 収支の状況

平成27年度の1年間に、町

## 歳入



平成27年度の一般会計・特別会計(国民健康保険・下水道事業・介護保険・簡易水道事業・後期高齢者医療)、水道事業会計の決算が町議会で認定されました。